年間テーマ
「主の恵みに生かされて歩む教会」

No,432

ペンテコステ

2025 年 9 月 1 日
（毎月 1 回 1 日発行）
カトリック谷山教会
〒891-0113
鹿児島市東谷山 2-33-13
TEL･099-268-2084
FAx･099-284-5738
E-Mail:taniyama-cc@Lagoonne.jp URL.https：//catholic-tc.jp
発行人 盛 克志神父　編集委員：上原敏子、上釜照美、徳永珠美

暑かった夏の日々も過ぎ、秋の季節が再び訪れて来ています。今年の秋、さらなる恵みの日々であることを祈っています。

さて、旧約聖書の「創世記」を見てみますと、神さまは、全てのものを創造したあと、「神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。」（創世記　1章31節）と創造の業に満足なさいました。「見よ！」と神さまは、今も私たちに語りかけ注目を促しています。世界が今どんなに暗く、現実が混沌としていても、それを突き抜けて到来する光があり、言葉があり、神さまの働きがあります。

今、世界のキリスト教諸教派は、9 月 1 日からエコロジーの保護の聖人アッシジの聖フランシスコの祝日である 10 月 4 日までの約 1 ヶ月を「被造物の季節」と定め、神と、自然と、わたしたちの関係をふり返って祈り、祝い、回心し、その関係改善に向けての取り組みを進めています。カトリック教会もこのエキュメニカルな活動に参加しており、教皇さまは 9 月 1 日の「被造物を大切にする世界祈願日」に向けて年メッセージを出しています。

今年のテーマは、今年、神さまのもとに旅立った教皇フランシスコがすでに選んだもので、「平和と希望の種」です。そして、現教皇レオ 14 世も、このテーマ「希望と平和の種」において、「被造物の季節」に言及しています。

キリストにおいてわたしたちは種であること、それも「平和と希望の種」として、神の霊にうながされながら、荒れ野を園へと変えるために、公正と正義のために働く恵みをいただいていることを、教皇さまは語っておられます。

地球の温暖化や多くの紛争で世界が燃え上がっているのを感じることは、舟の上で嵐に見舞われて恐れを感じる弟子たちの状況に似ている、と教皇さまは語りながら、しかし、「わたしたちには希望がある。わたしたちはイエスと出会ったからである。イエスはふたたび嵐を鎮められる。イエスの力は転覆させるのではなく創り出す力、壊すのではなく、新しいいのちを与える力である」と強調されました。このイエス様に信頼してまた9月の日々を歩んで行きましょう。

「存在するすべてのものの中に映し出される神を見ることができるとき、わたしたちの心は、すべての被造物のゆえに主を賛美し、すべての被造物と一つになって主を礼拝したい、という願望に動かされます」
（回勅『ラウダート･シ』87）

カトリック谷山教会　主任司祭　盛 克志

9月の聖人・福者より

9月3日　記念日
聖大グレゴリオ教皇教会博士
228年頃～341年頃

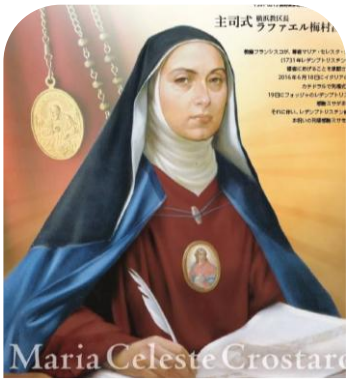
グレゴリオは、ローマの裕福な貴族の家に生まれ、哲学、法学などを学び、キリスト教の書物にも親しんでいた。 ローマ市長官であった父が、公職を退いて修道士になったことから、彼も家を改築してベネディクトの会則を基礎に、祈りの生活に励んだ。数年後、教皇ペラギウス 2 世のもとで助祭となり、コンスタンティノープルに教皇特使として派遣された。そこで 6 年間の任務を果たしつつ、ベネディクト会の修道士として生活した。

その後教皇に選出されたグレゴリオは、教会内外の教化に励み、教皇とは「神のしもべのしもべ」であると称して、教会のために力を尽くした。596 年には、ベネディクト会のカンタベリーのアウグスチヌスと 40 名の宣教師をイギリスに派遣し、このため多くのアングロ・サクソン人がキリスト教徒となった。また彼は、典礼と教会音楽の刷新にも取り組んだ。このときに作った聖歌の基礎が、「グレゴリオ聖歌」と呼ばれる。多くの著作を残したが、中でも「ヨブ記註解」などが有名である。彼の働きは、教皇権の強化と教皇領の拡大をもたらし、中世社会の実現に大きな影響を与えたので、「大教皇」の名を持っている。

（聖パウロ女子修道会）

9月11日　記念日　レデンプトール修道会
福者マリア・セレスタ・クロスタローザ
1696年～1755年

福者マリア・セレクタが、修道生活に入ったのは1718年22歳の時でした。その後1725年神は彼女に新しい観想修道会を創立するよう啓示されました。彼女は、手記の中で「私は神の愛の甘美さを感じ、光の真中にイエス様がお現れになり主が人々の為になさった全てのことを世の人々に思い出させる新しい教会を創立することを望まれると語られました。」と記しています。



当時の司教がアルフォンソをマリア・セレスタのもとに送り、彼はそれが真実の出来事であることを確信し、創立に協力しました。現在レデンプトリスチンと呼ばれている女子修道会はこのような経緯で創立されました。その2か月後彼女の受けた新しい啓示は、見捨てられている人々に神のみ言葉を伝える宣教師の修道会を創立することでした。

アルフォンソはその啓示が神のお望みであると悟り、男子レデンプトール修道会を創立した。

彼女は、神の偉大なご計画を悟り、黙想し、賛美し、この計画により、人間に対する神の愛をイエス・キリストの死と復活の出来事によって、人々に思い出させる神秘家です。（レデンプトール修道会聖人と福者）

MEMORY

2025年8月3日アルフォンソ祭

ピアノ演奏披露・仮屋さとみさん

8月6日広島平和記念日に核廃絶、世界の平和を願い行進しました。最後に照国神社裏庭の原爆記念碑の前で手をあわせる。

8月15日（金）キリスト教伝来記念祭と聖母の被昇天ミサ

ザビエル教会にて

日本で生活して 2 年半が経ちましたが、先月初めて亡くなった魂のための初盆ミサをささげました。そして、お盆は韓国の「秋夕」と似た意味だということも分かりました。

ミサの中で、自分の母親が亡くなったことも認知できない幼い子供たち 2 人を残して、早く亡くなった私の姉を思い出しながら、出ようとする涙に耐えました。誰よりも優しかった姉なので神様のそばに行ったことを信じて疑わないですが、それでもいつも会いたい気持ちはどうしようもないです。

最近、韓国のソウル大教区の司教様が亡くなりましたが、私が神学生だった時、恩師の神父様だったので、さらに悲しいことでした。

死は誰にでも訪れ、避けることのできないことですが、私たちが信じているのは、死は終わりではなく永遠の命の始まりという事実です。死んでこそ、神のもとへ行くことができるからです。

そういう意味では、死を受け入れ、私たちに残された大切な日々を喜んで生きることが、世の中に残っている私たちの使命なのです。

「泣くことは間違いではありませんが、亡くなった魂のために祈ることがさらに必要だ」と言った聖アンブロジオの言葉を覚えながら、この世を去ったすべての魂のために絶えず祈りながら生きましょう。　　ステファノ神父

サマーキャンプ in カトリック川内教会

教会学校　石田　浩央

8 月 16 日～17 日カトリック川内教会にて、小中高生の合同サマーキャンプを行いました。7 名の子供たちが参加致しました。今回は、遠方という事で現地集合と JR に分けて移動しました。今年は、川内花火大会に合わせキャンプを実施し、いつもと違うキャンプに子供たちもドキドキしている様子でした。一日目は、昼食後川内教会主任司祭福崎神父によりテーマである「わたしをおつかいください」について話をして頂きました。その後は教会の庭で水遊びを行いました。暑いこともあり子供たちは水遊びを楽しみました。その後近くの温泉に行き、夜は川内花火大会を見て大きな音と花火を楽しみました。二日目は、主日のミサに預かりミサ後川内教会の日曜学校の子供たちと一緒に聖母被昇天について小島終身助祭がお話をされました。そして、みんなでゲームを行い楽しいひと時を過ごしました。　　子供たちの感想です。

・「花火大会では大迫力の花火を沢山みる事ができました」
・「ミサでは久しぶりに朗読をしました。すごく緊張したけど他の教会でできたのはすごくいい思い出になりました」
・「いつもは侍者をしているので、見とく方が新鮮でした。来年もあったら行きます」
・「ミサでは神様に愛されている自覚を持つことが大切だと学びました」
・「川内の花火大会や水遊びが楽しかった」
・「相手を思い返して祈ることや自分が神様に愛されていることを自覚すること、心も思いやりを持って行動することの大切さを学びました」

一部を抜粋しました。全文は泣き部屋掲示します。体調不良や怪我もなく無事にキャンプを終えることが出来ました。皆様の援助と祈り、神様からの恵みの賜物だと感じたキャンプになりました。ご協力感謝致します。

たくさんのご支援
ありがとうございました。!!

みぃ～んな素敵な笑顔ですね❣　☺

令和7年(2025年) 谷山教会　9月の予定と祝日表 (9月 1日～9月30日)

日		時	典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会
1日	月	6:30	朝ミサ			
2日	火		朝ミサなし			
3日	水	記念日	聖グレゴリオ1世教会博士 召命ミサなし			
4日	木		朝ミサなし			
5日	金	6:30	初金ミサ			
6日	土	19:00	年間第23主日のミサ/聖母の土曜日		②・③	教会
7日	日	6:30&9:00	年間第23主日 ＊ベトナム人共同体ミサ14:00～	②・③		
8日	月	祝日 6:30	聖マリアの誕生 朝ミサ			
9日	火	6:30	朝ミサ			
10日	水	記念日 19:00	日本205福者殉教者 召命ミサ			
11日	木	6:30	朝ミサ			
12日	金	6:30	朝ミサ　/(マリアのみ名)			
13日	土	記念日 19:00	聖ヨハネ・クリゾストモ司教教会博士 年間第24主日のミサ　設営4班		④	教会
14日	日	祝日 6:30&9:00	十字架称賛　/祖父母と高齢者のための世界祈願日 年間第24主日/(高齢者の方々のためのミサ) ミサ中「癒しの秘跡」 9:00ミサ後茶話会(クレメンスホール)	④		
15日	月	記念日 6:30	悲しみの聖母 朝ミサ　敬老の日			
16日	火	6:30	朝ミサ			
17日	水	19:00	召命ミサ			
18日	木	6:30	朝ミサ			
19日	金	6:30	朝ミサ			
20日	土	記念日 19:00	聖アンデレ金と同志殉教者 年間第25主日のミサ		⑤・⑪	教会
21日	日	祝日 6:30&9:00	聖マタイ使徒福音記者 年間第25主日　9:00ミサ後役員会 13:30～コミチウム	⑤・⑪		
22日	月	6:30	朝ミサ			
23日	火	6:30	朝ミサ　秋分の日			
24日	水	19:00	召命ミサ			
25日	木	6:30	朝ミサ			
26日	金	6:30	朝ミサ			
27日	土	記念日 19:00	聖ビンセンチオ・ア・パウロ司祭 年間第26主日のミサ		⑥・⑦	教会
28日	日	6:30&9:00	年間第26主日/世界難民移住移動者の日(献金) 9:00ミサ後司牧評議会	⑥・⑦		
29日	月	祝日 6:30	聖ミカエル・聖ガブリエル・聖ラファエル大天使 朝ミサ			
30日	火	記念日 6:30	聖ヒエロニモ司祭教会博士 朝ミサ			

今月の行事当番班は、4班です。

9月1日～10月4日まですべての命を守るための月間

＊10/26(日) 9:00ミサ後～12:00までバザー予定　＊12/7(日) 9:00ミサ中堅信式(中野司教様司式)

＊11/2(日) 9:00ミサ中命日祭、ミサ後「やすらぎドーム」でお祈り

ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00～	2, 9, 16, 23,30日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 13:30～	3, 10, 17, 24日
聖書と教理ーⅡ	毎週金曜日 10:00～12:00	5,12,19,26日